



学習会

# 『戦争は自衛の名で始まる』

## ～個別的自衛権であればいいのか?～

2016年9月25日(日) 仙台市青葉区中央市民センター  
13:30～ 第4会議室



資料代  
300円

講師 石川 雅之 さん  
(パレスチナと仙台を結ぶ会)

地下鉄東西線「青葉通一番町駅」下車すぐ

とめよう戦争への道! 百万人署名運動・宮城県連絡会  
仙台市青葉区国分町3-7-1 仙台市職員労働組合気付  
090-8922-5418(立石) myg-100man@kha.biglobe.ne.jp

昨年9月の安保法強行採決から、早いもので、もうすぐ一年が経ちます。昨年の今頃は、国会前でも、仙台でも反対の声がたくさん上がりました。以来、「戦争と改憲に絶対反対！」の運動が、大学から、職場から、地域から力強く広がっています(写真)。

改憲勢力が国会で3分の2を占めたからといって、それで改憲が決まるわけではありません。改憲を打ち破る力は労働者民衆の中にあります。大学や職場や地域でもっともっと団結してたたかい、国際連帯をひろげ、ストライキをたたかう労働運動をよみがえらせましょう。その力で、安倍の戦争と改憲を絶対に阻止しましょう。

## 戦争で殺されるのは青年・学生です

他国に対する武力攻撃を「日本の存立が脅かされる」ものとして戦争する集団的自衛権であろうと、個別的自衛権であろうと、戦争は戦争なのではないでしょうか？ 戦わされるのは、政治家ではなく、若者です。特に経済的に苦しい非正規労働者や学生が狙われます(経済的徴兵制)。外国の見ず知らずの若者と殺し殺されるのが戦争です。

9月25日に、「戦争は自衛の名で始まる～個別的自衛権であればいいのか？～」と題する学習会を行います。どなたも是非、おいでください。共に学び、行動につなげましょう。

## 戦争は自衛の名で始まった！ 戦争をどうやって止めるか、共に考えましょう



「日本は侵略戦争をやったのではない。常に受身で、自存自衛のために戦ったのである」(東条英機・元首相)

住宅に隣接する沖縄米軍・普天間基地。ベトナムや中東の戦争の出撃基地となった。今もオスプレイが常駐し、新たな戦争を構えている。



京都大学で戦争絶対反対のバリケードストライキ(15年10月)



THAAD (サード) ミサイル配備反対行動(今年7月・韓国)



労働組合が被曝と帰還強制に反対(今年7月・原ノ町駅前)